

ソーシャルインパクトボンド（SIB）の手法を用いた 新たながん検診の個別受診勧奨の実施について

1 経緯

本県全体のがん検診の受診率は、5つのがん全ての部位で40%程度となっており、平成28年の国民生活基礎調査においては目標の受診率50%を達成できなかった。このため、受診率の向上に向けた新たな手法として、ソーシャルインパクトボンド（SIB）の手法を用いたがん検診の個別受診再勧奨を実施し、がんの早期発見による健康寿命の延伸、生活の質の向上を図る。

本事業は、国内初の複数年かつ成果連動支払契約による広域連携のSIB導入事業である。

2 SIBとは

SIBとは、成果の可視化と民間資金の活用を通して、社会的課題の解決をより迅速に実施できる効果的・効率的な仕組み。

【特徴】①成果の可視化、②成果に連動した報酬、③第三者による資金提供

【メリット】①県民へのサービスの向上、②エビデンスの蓄積、③行政コストの節減

3 事業概要

(1)事業目的	早期がん発見による、県民のがん死亡者数減少とQOLの向上
(2)実施主体	広島県及び6市（竹原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市）
(3)実施期間	3年間（H30～32（評価期間2年含む））
(4)事業内容	対象者の過去の検診・検査情報について人工知能を活用して分析。オーダーメイドの受診勧奨を行い、大腸がん早期発見者数の増加を図る。
(5)事業規模	22,294千円 ≪内訳≫ 県 18,414千円：人件費（受診勧奨、分析等）等【成果連動支払】 6市 3,880千円：勧奨資材作成費、郵送費等【固定支払】
(6)対象分野	大腸がん検診及び精密検査受診率向上
(7)成果指標	大腸がん検診受診者数、精密検査受診率
(8)対象者	40歳～69歳の国保加入者等

4 事業イメージ

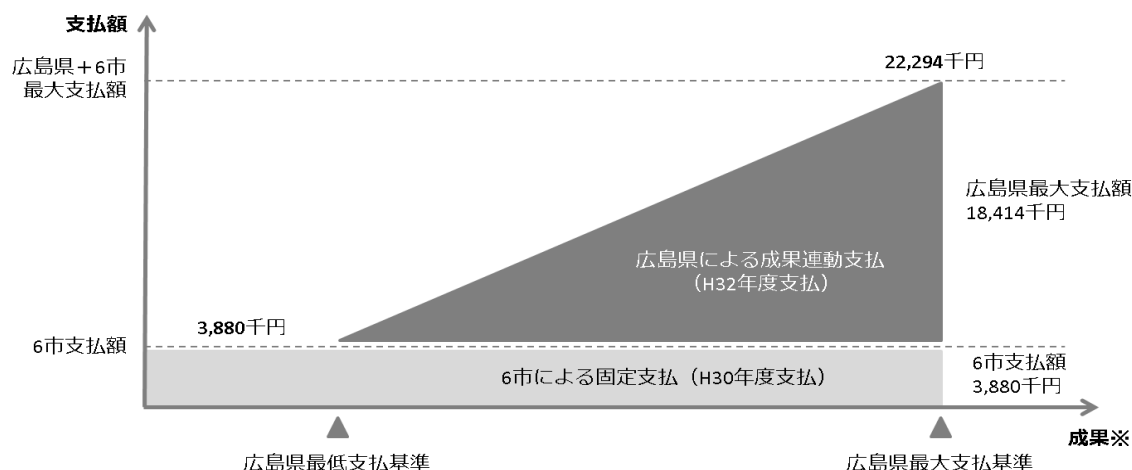
H30	H31	H32
<ul style="list-style-type: none"> がん検診受診再勧奨実施 精密検査受診再勧奨実施 	成果測定(H31.9) (検診受診率)	<ul style="list-style-type: none"> 成果測定(H32.9) (精密検査受診率) 県委託料支払

5 本事業の支払イメージ

・県事業費：成果指標の達成状況に応じた成果連動支払（H32年度支払）

(県支払例)	成果指標の達成状況	県支払額
	検診受診者数+4.1%未満かつ精密検査受診率70%未満	支払なし
	検診受診者数+8.1%かつ精密検査79%	12,445千円
	検診受診者数+8.8%かつ精密検査85%	18,414千円

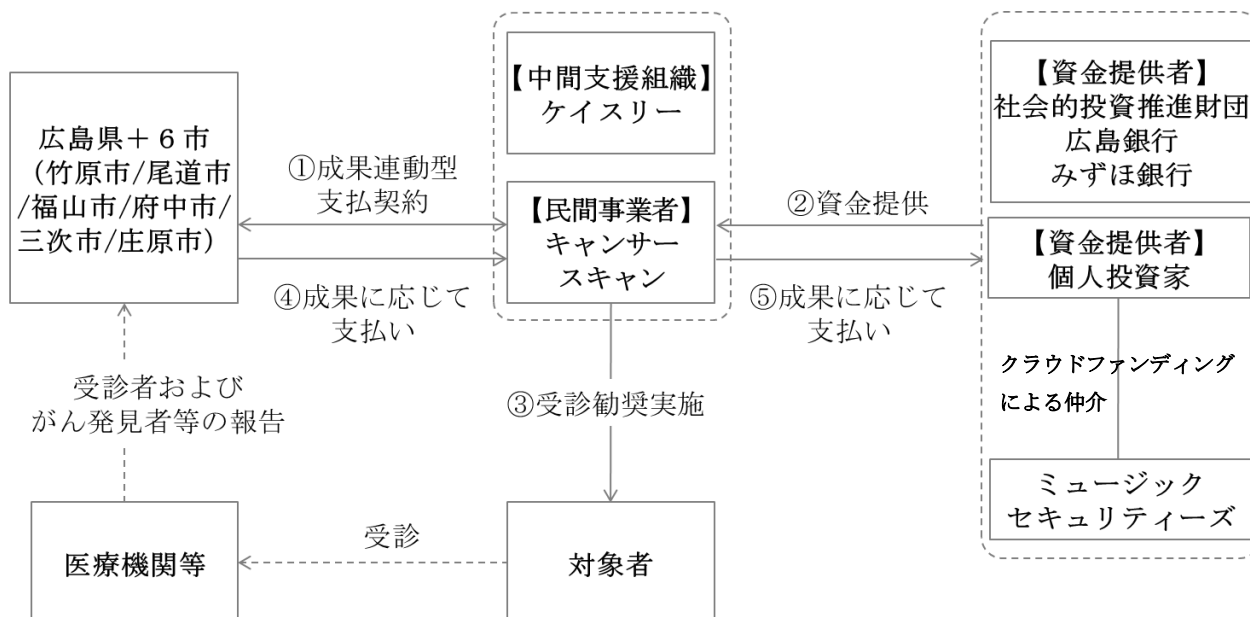
・市事業費：固定支払（H30年度支払）



※成果指標は、「大腸がん検診受診者数」及び「精密検査受診率」

《参考》

【実施体制】



【株式会社キャンサー スキャン】

【代表者】 代表取締役 福吉潤

【所在地】 東京都品川区西五反田 2 丁目 8-1 五反田ファーストビル 5F

【ケイスリー株式会社】

【代表者】 代表取締役 幸地正樹

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 3-26-16 第五叶ビル 5F

【一般財団法人社会的投資推進財団】

【代表者】 代表理事 青柳光昌

【所在地】 東京都港区赤坂 1 丁目 2 番 2 号 日本財団ビル 5F

【株式会社広島銀行】

【代表者】 代表取締役頭取 部谷 俊雄

【所在地】 広島市南区西蟹屋一丁目 1-7(仮店舗)

【株式会社みずほ銀行】

【代表者】 頭取 藤原弘治

【所在地】 東京都千代田区大手町 1-5-5

【ミュージックセキュリティーズ株式会社】

【代表者】 代表取締役 小松 真実

【所在地】 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 3 階

■ 本件に関する問い合わせ先

(お問い合わせ全般/全体概要について)

ケイスリー株式会社 幸地 E-mail : contact@k-three.org

(資金提供について)

一般財団法人社会的投資推進財団 工藤 03-6229-2622

株式会社広島銀行 公務営業部 地方創生担当 妹尾 082-504-3853

株式会社みずほ銀行 コーポレート・コミュニケーション部 03-5252-6574

ミュージックセキュリティーズ株式会社 広報 03-5948-7301

(業務詳細について)

株式会社キャンサー スキャン 出町 03-6420-3390

(県の目的・役割について) 広島県 がん対策課 082-513-3063